

# 平成29年度 大島学園小中一貫教育基本方針

大島学園 宗像市立大島小・中学校

## 1 大島学園の経営基盤

### (1) 公教育としての学校

日本国憲法及び教育基本法をはじめとする関係諸法規、並びに教育課程の基準である学習指導要領に則した教育に努めるとともに福岡県及び宗像市教育施策に基づいた公教育を行う。

### (2) 現代社会の要請に応える学校

社会の変化に主体的に対応し、「21世紀型能力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視する。

### (3) 児童生徒の実態を踏まえて教育を行う学校

地域とのつながりを重視し、児童生徒一人一人のよさや可能性の伸長を図る教育を展開する。

### (4) 児童生徒や保護者、地域社会の思いや願いに応える学校

豊かな自然と、郷土と日本の歴史や伝統を継承し、**世界遺産登録を意識して特色ある学校づくりをすすめる**とともに**学校評価を適切に実施し、「学校運営評議委員会」の意見を参考に、信頼される学校づくりに努める。**

## 2 大島学園の教育目標

『小中一貫教育を通し、大きな心でしっかり学び何事にも負けない子どもの育成』  
～鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす教育～

### (1) 小中一貫教育を通して（指導の基盤）

義務教育9年間で小・中学校が共通の教育目標の達成に向けて一貫した教育活動を行う。また、大島の自然や人・文化や伝統といった教育環境を土台に施設一体型・少人数指導の強みを活かし、前期・中期・後期の発達段階における明確な達成目標を意識した特色ある教育課程を実践し、成果を共有することである。

### (2) 大きな心（徳）

自分自身のよさを発見し、自信と誇り、相手を思いやる心や協力・協働の心を持ち、自己存在感を高め、他とかかわる楽しさを見いだし、互いを認め合い共に生きていこうとする自他尊重の心や態度である。

### (3) しっかり学び（知）

学年の発達段階に応じた基本的な生活習慣・学習習慣や知識・技能を身につけ、学ぶ意欲に満ち、自ら課題を見つけ、主体的に思考・判断・表現（行動）し、よりよく解決していこうとする資質や能力を備えることである。

### (4) 何事にも負けない（体）

自分の力を信じ、強い意志と高い志をもって困難な課題にも精一杯の挑戦を続けることができる行動能力であり、そのための基本的な生活習慣や学習習慣、体力を基盤として最後までやり抜く強い心と体を育成することである。

### (5) 鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす（指導の基盤）

やや困難な課題や目標を設定し、周りの人から最小限の支援を受けつつ自らの力で解決に挑み、指導者や子ども同士がその頑張りをほめ、認めることを繰り返しながら、学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心を伸ばすことである。（「鍛ほめ福岡メソッド」の展開）

### 3 目指す具体像（子ども像・学校像・教師像・家庭像・地域像）

#### (1) 目指す子ども像（人間力を鍛える）

- 大きな心（徳）
  - ・人や地域を大切にし、力を合わせる子ども
  - ・故郷を愛し、助け合う心・思いやる心を高めた感性豊かな子ども
- しっかり学び（知）
  - ・よく考え、よく学び合い、実行する子ども
  - ・課題を自ら見つけ、夢に向かって自ら意欲的に学び合う子ども
- 何事にも負けない（体）
  - ・運動が好きで体を守り鍛える子ども
  - ・課題解決に向けて、何事にも挑戦する逞しい子ども

#### ☆大島学園が目指す9年生像☆

「15の春で、大島を離れて高校生活を送りながらも、社会の変化に対応し、たくましく生きぬくことができる子ども」を育成するために

志望する高校に合格する「学力」、親に頼らず自活できる「生活力」、大人数でも臆することなく表現する「表現力」を培う。

#### (2) 目指す学園像（学校力を鍛える）

- 思いやりに満ち、あいさつの声が響き渡り、教育環境が美しく整備されている学園
- 大島の伝統を受け継ぐとともに、故郷を大切にしながら未来に向かって挑戦する学園
- 地域や家庭と協働し、自他のよさや伸びを認め合い、温かい風土に包まれている学園

#### (3) 目指す教師像（教師力を鍛える）

- 豊かな人間性と目標と協働の意欲をしっかりと持ち、子ども・保護者・地域に信頼される教師（経営力）
- 小中一貫教育・へき地教育に使命感と情熱を持ち、常に学び続け、子どものよさや可能性を伸ばす教師（指導力）
- 心身ともに健康で、学校経営参画意識を持ち、組織的に努める教師（組織力）  
※教育公務員としての自覚と責任を再認識し、体罰、セクハラ、飲酒運転、個人情報流出防止や公金の適正管理等の不祥事防止に努める。

#### (4) 目指す家庭像（自立心を鍛える）

- コミュニケーションを重視し、思いやりの心や命の大切さを教える家庭
- 家庭学習の習慣を身に付けさせ、温かいかわりの中で子ども自身に考えさせる家庭
- 「新家庭教育力宣言」を実践し、健康的な環境を創る家庭

#### (5) 目指す地域像（社会性を鍛える）

- 子どもの出番・役割を与え、子どもの自己有用感を高める地域
- 共育の在り方を模索し、豊かな奉仕の精神を育てる地域
- 島全体で子どもを見守り、健康的で活気溢れる地域

### 4 教育課題と経営課題

#### (1) 教育課題

- 施設一体型小中一貫教育と小規模校・少人数学習による確実な学力の定着
  - ・個に応じた指導における効果的な個人カルテの作成と活用（事前の実態把握）
  - ・まとめの充実による確実な学習内容の定着（1時間及び1単元後の実態の把握）
  - ・アクティブラーニングを基本に据えた授業の展開
- 人間関係力を培う自尊感情の醸成
  - ・五箇条の徹底
  - ・教育目標達成の視点から学校行事等の目的・内容・方法の吟味・整理、自尊感情を高める活動の充実

## (2) 経営課題

- へき地・小規模校の特徴を活かした組織体制の整備と組織運営の活性化
  - ・経営参画意識の高揚と目標の共有化
  - ・校務分掌組織の機能化・活性化
- 教育目標達成につながる教育活動の精査及び質の向上
  - ・教育活動の大胆・緻密な見直し
  - ・ファシリテーターを中心とした教育活動の充実
- 授業の指導技術向上と日常の学習指導の徹底
  - ・OJTによる授業研修の組織的な実施
- 家庭・地域との連携強化
  - ・家庭・地域と連携した教育活動の推進と更なる信頼関係の構築

## 5 本年度の重点目標

自信をもって、自分の「よさ」を発揮できる子どもの育成

『スローガン』

挑戦こそ、夢実現の第1歩（まずは、やってみよう）

【私達は、次の五箇条教育を徹底し、子どもたちを支援します。】

- ① 気持ちのいい挨拶が笑顔でできる学園
- ② 掃除が行き届いた美しい学園
- ③ 校歌を心から堂々と歌える学園
- ④ 一人ひとりを大切にする学園
- ⑤ 故郷を大切にする学園

### 【評価指標】

- 自尊感情の醸成  
学校評価数値：目標値3.3以上  
宗像市学習意識調査「学校生活充実度（楽しい・充実）」：90%以上  
児童生徒関連アンケート
- 学力の向上  
学年基礎学力診断テスト（市販）：前年度平均正答率から2ポイントアップ  
全国学力診断テスト（文部科学省）：（小）全教科区分を全国平均以上  
：（中）平均正答率全国平均から5ポイント以内  
市統一テスト：市平均

## 6 経営の重点

◇その1 子どもの総合的な「人間力」の向上

### (1) 基本的な生活習慣の徹底

- ・五箇条教育の徹底，掃除，言葉遣い，時間を守るなど

### (2) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- ・実効性のある学力向上プランに基づく取り組みの充実
- ・個人カルテの作成活用，授業におけるまとめの充実

### (3) リーダーとフォロワーの育成

- ・児童活動・生徒会活動の活性化
- ・主体性を育む組織的な共通実践

**(4) 表現力を培う教育活動の推進**

- ・表現力の質の向上とそれに伴う指導の充実

**(5) 島内外における発表会等への積極的参加**

- ・日本語英語スピーチ，絵画，作文，音楽，文化行事等

**(6) 生き抜く力の育成**

- ・キャリア教育・英語教育の推進

**◇その2 責任と改善意欲にあふれる「教師力」の向上**

**(1) 学習指導要領に基づく教科・領域等の年間計画の確実な実施**

- ・年間計画の見直しと週案簿の確実な記入
- ・教科道徳の先行実施と探究活動による総合的な学習の充実

**(2) 教育目標達成につながる感動的な学校行事，教育活動の質の向上**

- ・ねらいを明確にし，子どもの主体性のあるプロセスを大切にした教育活動

**(3) 授業の基本的指導技術の向上を重点とした授業改善**

- ・OJTによる授業研修の組織的計画的日常的な充実推進
- ・授業指導技術向上を重点とした授業研修

**(4) 特別支援教育・人権教育の視点に立った授業づくりの充実**

- ・個人カルテを活用した個に応じたきめ細やかな学習指導

**(5) まとめの充実を重点とした学習指導**

- ・学習内容の定着への教師の確実な見取りの工夫

**(6) 積極的生徒指導の推進**

- ・学習規律指導と危機管理の徹底
- ・いじめ問題への徹底した対応

**(7) 職員研修の充実と研修会等への積極的参加**

- ・主題研修と一般研修のバランスと充実
- ・県教育センター，他校研究発表会，教科等研修会への計画的積極的な参加と教育論文への計画的応募

**◇その3 信頼感を基盤にした「学校力」の向上**

**(1) 目標と連動した教育内容に応じた活力ある学校運営組織の整備**

- ・年度末作成した実施要項の担当者による年度初めの見直し
- ・行事や会議の精選

**(2) 校務分掌組織の役割及び責任の明確化と組織運営上の位置づけ**

- ・校務分掌一覧の見直し
- ・役割分担表の作成と会議提案内容担当者表の作成

**(3) 主任主事等をファシリテーターとした校務分掌組織運営の積極的推進**

- ・ラインスタッフ機能の充実
- ・報連相の徹底

**(4) 教師のエンパワーメントを重視した組織運営の推進**

- ・年度当初における責任の明確化
- ・職員面談の充実

**(5) 子どものよさと可能性を伸ばし，支持的風土を基盤に据えた集団づくり**

- ・学級活動の充実
- ・人間関係形成力を培う意図的な異学年交流

**(6) 学校評価の実施及び結果の公表と報告**

- ・P D C Aの徹底
- ・自己評価表との連動

**(7) 地域，家庭との連携，協働**

- ・児童生徒地域ボランティア活動の推進
- ・地域保護者の学校支援ボランティア参加推進

## 7 指導の重点

### (1) 各教科指導の重点

- 少人数における教師の役割を意識した授業を充実推進する。
- よさ・成長を認め、学習の構えづくりと学び方の定着を目指す。
- 基礎的・基本的内容の確かな理解と定着のための授業づくりを推進する。
- めあてとまとめが対応する授業づくりを推進するとともに、構造的な板書構成に心がける。
- 積極的にICTを活用し、それに伴う教具を準備し、具体的活動、表現活動、体験活動、交流活動の活性化を目指した授業づくりを推進する。

### (2) 道徳指導の重点

- 道徳の時間において、多様な学習指導の展開を行い、指導方法を工夫し、道徳的価値の自覚を図る。また、道徳的価値を自己とのかかわり、他とのかかわり、集団や社会とのかかわりで見つめさせることを重視する。
- 副読本「かがやき」や「あおぞら」、「私たちの道徳」を子どもの実態やねらいに応じて活用する。
- 「特別の教科 道徳」の指導へ向けて、児童・生徒の発達段階を考慮した指導方法の工夫や多様な教材の工夫などにより、道徳的な行動や実践につながる指導の充実に努める。

### (3) 特別活動の指導の重点

- 集団活動や交流活動を通して、人とのかかわりを深め、好ましい人間関係を育成する。
- よさやちがいを認めるとともに、よさを伸ばす自主的・自律的な集団活動の充実に努める。

### (4) 総合的な学習の時間の重点

- 世界遺産登録に伴い5年先10年先を見据えた地域のニーズに対応した未来志向力の育成と課題設定及び課題解決をめざした子どもの主体的な活動とその支援に努める。
- 指導内容の厳選と重点化に努めるとともに、体験や表現等の活動を重視する。

### (5) 体育・健康・食に関する指導の重点

- 健康安全指導を徹底し、健康管理・体力向上への自己指導能力を高める。
- 衛生的で楽しい給食指導の徹底を図り、正しい食生活への関心・実践力の育成に努める。また、食への感謝の念を豊かにする。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした取り組みに努める。

### (6) 外国語活動・外国語の指導の重点

- 本校のカリキュラムに則った指導を行いながら、グローバル化に対応した小学校における英語教育の早期化や英語力や英語でのコミュニケーションを育成するなど外国語活動・外国語に積極的に取り組む。
- 国際コミュニケーションの場面において、子どもによりよく通じる英語の使用となるようにする。

### (7) 人権・同和教育指導の重点

- 日常的な言葉遣いに関する指導等を通し、人権に関する知的理解と人権感覚の育成に努め、よりよい人間関係づくり・支持的風土づくりを行う。
- いじめ防止基本方針の内容の全職員への周知や生活アンケート等を定期的実施により、実態把握に努めるとともに指導方法等に役立てる。
- 人間尊重の精神と共生の視点に立った人権・同和教育の充実に努める。

### (8) 特別支援教育の重点

- 通常学級における個別の支援計画・指導計画の作成はもとより、特別な支援を要す

- る子どもに対する理解を深め、協働体制で推進する。
- 心の通い合う学級運営に努め、子どもの伸びが見とれる個に応じた指導の充実を図る。
  - 通常学級，特別支援学級の各担任・学年が連携・協働し，合理的配慮による適切な支援を行う。

**(9) 生徒指導の重点**

- 基本的な生活習慣や学年の重点内容については，徹底した積極的生徒指導に努める。
- 受容と指導のバランスを重視し，子ども一人一人の自己実現を図る。
- 生徒指導委員会を定期的に開催し，情報交換・指導法の究明等を行う。

**(10) 教育環境の整備・充実**

- 子どもに生きて働く校舎内外の動的な環境整備に努める。
- 共通性や独自性のバランスを考慮した教室環境を構成する。

**(11) 危機管理意識の充実**

- 危機が起こった際，子ども・教職員が自ら判断し，自律的に問題解決ができる組織づくりに努める。

小中一貫教育に関する評価（学校評価年間計画）

		評価内容及び評価方法	改善に生かす方策
児童生徒による評価	年2回 7月 12月	・アンケート形式 ・学年別教科別 ・項目（興味関心，理解度，満足度，進捗や分かりやすさ）	・アンケート内容の改正 ・担任教科担任へ返し，次学期の改善点集約 ・研究内容と小中をつなぐ授業になっているかを検証
自己評価	年2回 7月 12月	・自己評価シート ・項目（校長が指定）	・自己評価シートの改善 ・分析結果の職員への提示と改善点の共通理解
学校運営評議委員会	年3回 7月 11月 2月	・計画 ・推進状況 ・まとめ ・評価結果の公表	・推進状況評価 ・地域連携学校行事の評価 ・実施組織や運営方法を検討 ・小中一貫だよりの発行
学校運営	年1回	・校務運営	・次年度の学校運営
学校行事	行事後	・達成満足度 ・よさと改善点	・次年度の学校運営

<課題解決のための実践事項>

解決課題	内容・時期	組織	具体的方策
学力向上システム	・学力実態把握 ・学力向上プラン ・授業訪問実施充実	教務部会 研究 学CN	・学力分析テスト等による実態把握 ・教科別学力向上プランの作成 ・授業訪問の観点明確化
第2期小中一貫教育推進システム	・6者会の充実 ・職務別会の充実 ・	教頭部会	・小中の教師間交流の新たな方策の検討 ・児童生徒交流の内容充実精査 ・教頭を中心とした各職務部会の活性化
学校運営システム	・学校運営評議委員会 ・校務分掌の検討	教頭部会	・評議委員会の内容検討 ・効果的な学校評価システムの検討 ・ラインスタッフ機能を生かした校務分掌の組織改革と運営
P T A地域連携システム	・教育課程編成 ・体験的活動の充実と内容の整理 ・資源回収 ・新家庭教育力宣言	教頭部会 生徒指導部	・地域に根差した体験的活動の実施 ・安全管理体制整備 ・生徒指導（危機管理） ・基本的生活習慣 ・地域合同ワークショップ開催 ・島全体の取り組みへ

## <大島学園の特色ある教育活動>

- ・施設一体型9年間の系統的な少人数指導
- ・地域と連携した学校行事と地域行事への参加

大島の子どもたちは、大島という地域の特性を活かし、施設一体型の小中交流活動、島のスポーツであるバレーボールの部活動や地域ボランティア活動など地域や親戚とのつきあいのなどを通して、人間関係や社会関係に揉まれながら社会性を高めている。

大島学園では、学業成績だけでなく、部活動で鍛えた体力だけでなく、指示待ち型人間ではなく、マニュアルや前例どおりではなく一匹オオカミでもない実践力を身につけ、柔軟な人間関係や社会関係を構築できる子どもの育成を目指しています。

